

標題 くにびき産直の新規会員研修会を開催

(ダイジェスト)

6月25日(火)、JAしまねくにびき地区本部において「くにびき農産物産直コーナー出荷者協議会の研修会」が開催されました。

研修会には20名が参加し、協議会員の遵守すべき事項、食品表示の基礎等の説明が行われました。農業普及部からは農薬の取り扱いについて講義をし、GAPの説明及びアンケート調査を実施しました。

くにびき農産物直売コーナー出荷者協議会は会員1260名、JAしまねくにびき地区本部の直営3店とインショップ8店、合計11店舗で産直販売高6億6000万(H30年度)を上げています。農業普及部としては産直GAPの推進など、多様な担い手の確保・育成の一端を担う場として支援を行っています。

今回の研修会には新規会員20名が参加し、JA担当者が協議会の概要等を説明した後に、普及部からポジティブリストや生産履歴、農産物の営利生産を行うにあたって理解しておくべき農薬関連事項、そしてGAP(産直GAP・美味しまね認証)について解説しました。

多くの受講者にとっては初めて聞く制度や概念もありましたが、聞いている姿勢からは真剣さがうかがえました。また、生産者にとっては、農薬の取り扱いについて詳しく学ぶ機会になったことから、この研修会はとても良かったと考えています。

研修会に併せて、GAPアンケートを行いました。その回答を見ると、多くの参加者がGAPへの取り組みを考えていることが分かりました。

なお、次回の新規会員研修会は12月に予定されていますが、農業普及部としては、様々な機会をとらえて正確な情報を提供し、生産者自身の安全は勿論、生産物の安全性・信頼度をさらに高めて有利販売に繋げていくとともに、産直会員の更なるレベルアップを図りたいと考えています。

特にGAPについては、1人でも多くの生産者に取り組んでもらえるよう、啓発活動を実施していきます。



【講義を行う普及部担当者】